

（上ノ郷城）

「上ノ郷城は、鎌倉時代に熊野から移ってきた鵜殿氏によって築城されたと伝えられている。以後鵜殿氏の居城として続くが、鵜殿藤太郎長照が城主の時の永禄五年（一五六二）に徳川家康の軍勢により攻められて落城した。そして落城後は、知多半島阿久比の領主久松佐渡守俊勝がこの上ノ郷城を

勢力を持っていました。「竹谷松平家」、「形原松平家」、「五井松平家」などが昔の記録にあります。また家康は、上ノ郷城（現代の神ノ郷町城山）を攻め落としたりもしています。これに関する『蒲郡市史』の記述は次のとおりです。



▲上ノ郷城跡

任された。蒲郡市域に残る城跡の中で、最も残存状況の良好なのがこの上ノ郷城跡である。城跡一帯は農地化及び宅地化されているものの、著しい開発は行われておらず、土壘や濠などの跡が残つていて、この城の概略やおよその規模を想定することができる」

（古代・中世編 469ページ）

上ノ郷城攻めの時、家康はまだ21歳でした。桶狭間の合戦で破れた今川家から離れ、織田信長に付いて間もないころのことです。若き日の家康が、この蒲郡市で合戦をしていましたと思うと、なんだか歴史が身近に感じられませんか？

また実際に上ノ郷城跡に行つて、南の方角を眺めると、かなたに光かがやく三河湾が見えます。なかなか素晴らしい景色ですから、ぜひ一度、ご覧になることをおすすめします。

### 『蒲郡市史』を読み終えたら



▲木造十一面觀音立像（相楽町）

文化財保護強調週間です

守ろう文化財  
11月1日～7日は

# 蒲郡市史

1セット（全4巻）

1万円にて好評販売中

ぜひ各ご家庭に『蒲郡市史』を

販売場所  
蒲郡市博物館  
蒲郡市立図書館

す。昔のことがらについてみんなで話し合い、「これから蒲郡市がどういう道を歩むべきか」ということを考えてみたら、きっとそれが「いいまち蒲郡」を作つてい

く第一歩になるのではないでしょうか。

蒲郡市博物館  
学芸員 平野仁也